



社団法人
滋賀県理学療法士会
ニュース

No.166 (2011-3)

<http://www.shiga-pt.or.jp>

2011.6.1発行

発行者：(社)滋賀県理学療法士会 本白水 博
〒520-8575 大津市御陵町3-1
大津市健康保険部 健康長寿課
電話 077-528-2741 FAX 077-526-8382

編集者：島田 吉建(甲西リハビリ病院)
椎葉 恵(甲西リハビリ病院)
山添 徹(公立甲賀病院)

印刷所：(有)東 呉 竹 堂 (ひがし印刷)

日本リハビリテーション連携科学学会第12回大会in滋賀

第5回 滋賀県連携リハビリテーション学会研究大会 開催報告

滋賀医療技術専門学校 宇 於 崎 孝



平成23年3月12日(土)、13日(日)に、滋賀県立県民交流センターピアザ淡海にて開催された表記学会についてご報告いたします。

まず、ご存じの方も多いかと思いますが、これまで滋賀県連携リハビリテーション学会を先導していただき、本学会大会長の藤原誠先生が大変残念なことに昨年末にご逝去されましたことを謹んでお悔やみ申し上げます。そして、大会前日の3月11日に発生した東日本大震災にてお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災地の皆様ならびに関係各位に心よりお見舞い申し上げます。

本学会は、「コミュニティの創成・継承・展開～響き合い 繋がるこころ～」をテーマに開催され、鼎談や学会企画セミナー、特別講演、シンポジウムと一般演題のみでなく、多くの企画をしていました。しかし、震災の影響で交通機関が乱れ、また被災された発表者の方々が会場に来ることができない非常事態に大慌てでしたが、早朝から夕方まで本当に事務局および運営委員、協力スタッフ、学生スタッフ一同、藤原先生の意味を継ぎ、連携がとられた運営だったと思います。ご協力ならびにご参加いただき



ました先生方にこの場をお借りして御礼申し上げます。

日本リハビリテーション連携科学学会は、リハビリテーション諸科学の有機的連携、現場の実践に即した研究・討議、リハビリテーション分野のネットワーク、トータルリハビリテーションを目指し、医学、教育学、心理学、社会福祉学、工学など関連諸科学の研究者や実践家の共通の広場として機能する学会であるため、このような学会が滋賀県で開催されたことは大変誇らしく思います。滋賀県理学療法士会からも、奥邨純也先生(公立甲賀病院)がご発表され、質疑応答でも非常に活発な討議がなされました。本当にお疲れさまでした。

また、第5回を迎えた滋賀県連携リハビリテーション学会も、年を重ねるごとに定着し、今年度は29演題が集まり、運営委員として関わらせていただいた5年間で徐々に発表者も多くなるとともに、理学療法士や作業療法士以外からも多くの発表がなされるようになったと実感しています。これは、滋賀県のリハビリテーションに関わる多職種が、連携の重要性また必要性を実感している表れだと思います。

最後になりましたが、今学会が藤原先生の意味を継ぎ、今後もさらに盛大に開催されるためにも皆様のご協力とご理解を頂きたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



平成22年度 第11回佐賀県理学療法士会理事会報告(要約)

日 時	平成23年 3月10日 (木)	17時50分～20時30分
会 場	済生会佐賀県病院	
議 長	本白水会長	
出席者	平岩、宇於崎、松岡、久保、武田、弘部、柴田、酒井	

○審議事項

1. 平成23年度予算・事業計画
事務局より第3案が提出され、了承された。
2. 公益法人について
改正定款(案)・会員の位置づけ及び会費に関する細則(案)・役員の報酬等に関する規程(案)が職能部より示された。今後、現定款との対比表を会員へ郵送する。23年6月の定期総会には定款変更を議案として提出することが了承された。
3. 連盟について
佐賀県理学療法士連盟林寛会長より、3月2日県に政治連盟設立届を提出し受理されたとの連絡があり、早急に役員会を開催予定。
4. その他

○報告および承認事項

1. 各部・各委員会の活動について

総務部：休会4名が承認された。23年度定期総会は、6月5日(日)にピアザ淡海で午後3時15分頃から開始する。

財務部：22年度の会計閉鎖は3月28日。県医務予防課の監査が3月14日に行われる予定。

研修部：23年度第1回研修会(6月12日 下部体幹に対するアプローチ(仮))は、実技があるため参加者は80名以内と制限する。参加希望者超過の場合は申し込み多数の施設に調整をしていただくよう依頼する。

生涯学習部：3月20日(日)ピアザ淡海で新人研修会を開催予定。

学術誌部：部長より23年度以降の学術誌「湖都」へ佐賀県学術集会の一般演題を掲載することについて提案があった。「湖都」内容の質を担保するため査読を行った上で掲載する。査読委員は学術

誌部で会員の中から人選を行い依頼する。

また、「湖都」の研修会講師による特別寄稿は現在の3題から4題に増やすことについても提案があった。その場合は講師の意向を尊重する。

診療報酬部：23年度より岡村氏(南草津病院)が部長就任予定。

職能部：定款(案)を作成。

保健福祉部：第2回勉強会を3月10日びわこ学園医療福祉センター草津で開催。

公益事業部：高校生の理学療法体験を3月30日に佐賀医療技術専門学校で開催予定。マスコミ各社へ情報提供し取材希望があれば受ける。23年度は、7月頃に開催して高校3年生を対象にする予定。

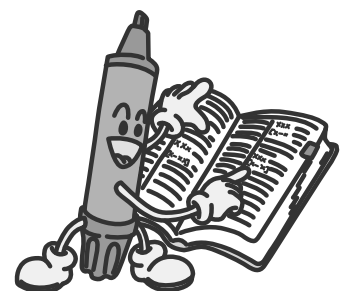
表彰委員会：日本理学療法士協会より小寺利秀氏(宮脇病院)の協会賞受賞の連絡があった。

需給調査委員会：理学療法士の需給に関するアンケート調査を県内の医療・介護施設対象に実施。3月18日に調査票を発送。

近畿学術大会準備委員会：2月25日に第5回委員会開催。大会案内(第1報)の発送と大会ホームページの立ち上げを行う。

2. その他

- ・県学術集会のポスターが完成し、会員施設や体育協会を通じて配布していく。
- ・24年度県学術集会は学会長に分木ひとみ氏(佐賀医療技術専門学校)準備委員長に川崎浩子氏(同左)に決定。



平成23年度 第1回佐賀県理学療法士会理事会報告(要約)

日 時	平成23年 4月14日 (木)	17時45分～20時00分
会 場	済生会佐賀県病院	
議 長	本白水会長	
出席者	平岩、宇於崎、松岡、武田、弘部、柴田、酒井、久保	

○審議事項

1. 平成23年度予算・事業計画
2. 連盟について
4月6日に連盟役員会が開催された。
3. 公益法人について
新定款の案について、会員に意見を募っている段階。今後6月の定期総会で報告する。
4. 震災対応について
日本理学療法士協会や各県の士会長などとも情報交換をしているが、どの県も早急な対応は難しい。
ボランティアや義援金は協会の窓口一本化にあわせて佐賀士会も同様の対応とする。
県より会津若松への理学療法士派遣依頼があり、医療チームに理学療法士も参加するよう佐賀県病院協会より依頼があった。その結果、数施設の医療チームに理学療法士が参加し、現地へ向かう予定になっている。
4月中の派遣チームは決まっているが、5月以降は今後の対応を検討していく予定。
義援金について：阪神大震災のときは佐賀県士会で個人寄付を集めていたが、今回は協会窓口一本化。
個人ボランティア：数名の参加者あり。今後は情報を共有し、これからが理学療法士の活躍の場なることが予測されるので、今後の参加者のためにも報告会などの開催も検討する。
参加者には表彰も検討する。
5. その他
次年度の理事会開催場所の検討が行われ、当面は佐賀医科大学と成人病センターのどちらかをお借りして開催することとなる。今回は佐賀医科大学にて18時から開催予定。

○報告および承認事項

1. 各部・各委員会の活動について
総務部：休会1名が承認された。休会数を再度確認する。
財務部：士会監事による定期監査が4月12日に開催された。指摘事項として、外部委託できる業務は外部に委託していく方向で検討すること。業務が多忙になってきているため、役員報酬を検討しても良いのではないか。
公益法人化が無事に申請されたら上記項目について検討していく。
公益法人化に向け、正味財産増減計算書、財産目録、貸借対照表の作成と確認を行った。
総会資料は4月下旬に発送予定
広報部：ニュースの発行が遅れている。今後は校正に速く入れるように検討していく。
厚生部：フォトコンテストの開催案内が各施設に配布された。受賞作品の決定は、佐賀学会会場で、会員の皆様の投票により決定する予定。
6月26日(日)に新人歓迎会をあたらしく開催する。理事の参加を願いたい。
研修部：23年度第1回研修会(6月12日 下部体幹に対するアプローチ(仮))を開催予定であるが、講師の事情により実技指導にアシスタントが必要となり、講師料の半額を支払う形で承認された。
生涯学習部：3月20日(日)ピアザ淡海で新人研修会を開催し77名の参加があった。しかし、参加者が受講希望しているにも関わらず、検印を午前中に行ったため、午後から参加せずに帰る会員が多かった。
したがって次年度は検印の方法を検討していく。
新人教育プログラムの履修管理については、協会のホームページにて、自己管理となるため、佐賀県士会としても、新人教育プログラムの履修管理は行わず、自己管理を基本としていくこ

とで合意。しかし、現在はまだホームページ上からの自己管理が出来ないため、準備が整うまでは生涯学習部が管理をしていくこととなる。

学術誌部：「湖都」の発刊が終了した。

査読に関する件は案が出来つつある。今後完次次第議論していく。査読者への依頼は会長名で依頼していく方向で決定。

教育部：研究助成事業の準備とアンケートの作成を進めている。

診療報酬部：今後の活動については部長と検討中。

診療報酬の情報収集と情報提示だけではなく、診療報酬に関する情報収集の仕方から会員に勉強してもらうことも必要ではないかと検討中。

職能部：定款(案)の意見を募っている。連盟との連携を今後も充実を計っていく。

保健福祉部：第2回勉強会が3月10日びわこ学園医療福祉センター草津で開催され、参加者15名。

公益事業部：高校生の理学療法体験が3月30日に滋賀医療技術専門学校で開催され、ZTVが取材に来た。参加者41名(高校生38名、保護者3名)で参加者は熱心に参加され、好評であった。

23年度は、7月～8月頃に開催する予定だが、各高校にアンケート調査を実施し、時期を決定する。

需給調査委員会：理学療法士の需給に関するアンケート調査を県内の医療・介護施設対象に実施し、現在集計作業に入っている。アンケート後に問い合わせが多数あり、理学療法士を紹介してほしいとの問い合わせが多かった。しかし、斡旋は出来ないと返答したとの報告。その他、理学療法士の紹介については、士会が情報を各施設

にFAXで流すような方法は士会が斡旋している形になるので望ましくない。ホームページなどに個人がアクセスしてほしい情報を個人が得られる方法が良いとの意見が出た。

2. 今後の事務予定について

保険医療従事者研修会の議題について

- ・COPDに関する研修であれば、今後増加する傾向で、各医療職のかかわりが多いので良いのではないかな？
- ・災害医療について等の意見が出た。
- ・他団体の会議に参加することになっていたが、震災の影響で中止になっており、当日会場に到着し初めて中止になっていたことを知ったと言う事案が発生した。事前連絡は全く無かった。今回は会議開催元の不手際で連絡が無かったようだが、今後もこういう事例が考えられる。

また事務局、財務部、事務局長、会長などが別々の施設に存在するため、連絡事項の伝達に不備が生じているため連携のあり方を検討する。

- ・事務所開設費についての明確なビジョンを会員に示す必要があるとの意見が出た。しかし、事務所を開設しても現在の貯蓄額では場所の確保すら難しい。さらに家賃や人件費は士会の予算から捻出するため現在の収入額では運営が難しい。

今後はビジョンを明確にするよう議論していくこととなる。

会長行動録

2月26日(土) 訪問リハビリ従事者研修会あいさつ

2月27日(日) 滋賀県病院大会

3月10日(木) 理事会

3月12日(土) 滋賀県連携リハビリテーション学会

3月14日(月) 震災関連全国士会・近畿ブロック等情報収集

4月5日(火) 震災理学療法士派遣に関する県との打合せ

4月6日(水) 連盟役員会

4月12日(火) 平成22年度監査立会い

4月14日(木) 法人申請委託業者との打ち合わせ

4月14日(木) 理事会

4月19日(火) 保健従事者研修会打ち合わせ

厚生部 公募事業募集

今年度も厚生事業を会員各位より募集し、厚生部から事業運営費を援助させていただきます。以前からこんな事をしてみたいと企画を温めておられた先生方、スポーツ大会の企画を考えておられる先生方は是非ご応募ください。

◆申し込み方法

氏名・所属・連絡先・簡単な事業内容（企画案・予算案など）を明記して、“厚生事業申し込み”の件名で下記アドレスまでE-mailにてお申し込みください。厚生部より折り返しご連絡させていただきます。なお応募多数の場合は、厚生部で審査・決定いたしますのでご了承ください。

厚生部受付 E-mail: ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp



◆締め切り：平成23年8月末

◆お問い合わせ先：東近江市立蒲生病院リハビリテーション科 奥田

TEL：0748-55-1175（代表）



新入会員歓迎会のご案内

今年も恒例の新人歓迎会を開催致します。この春、滋賀県理学療法士会へ入会されました新人理学療法士の先生方ならびに既存会員の先生方、是非お誘い合わせの上ご参加の程よろしくお願い致します。

日 時：平成23年6月26日（日）

17：45～19：45

※新人研修会終了後に開催します。

会 場：あたか飯店 浜大津店

会 費：新入会員 無料

既存会員 3,000円

交通手段：研修会会場から送迎バスを出す予定。

【各施設の代表者様へのお願い】

平素より士会活動にご尽力いただきありがとうございます。この春より新人理学療法士が入職されました施設におきましては、新人の先生方へ歓迎会参加申し込みのご案内をよろしくお願い致します。

申し込み方法：新人研修会の申し込みと合わせて生涯学習部宛にお申し込みいただくか、厚生部宛にE-mailかFAXにてお申し込みください。どちらか一方でかまいません。

申し込み先：

E-mail h-kawasaki@pt-si.aino.ac.jp

（生涯学習部・研修会申し込みと合わせて）

ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp（厚生部受付）

※件名・氏名・所属・送迎バスの有無を必ず明記してください。件名は、生涯学習部宛の場合は“1年次新人研修会・新人歓迎会申込み”、厚生部宛の場合は“新人歓迎会申込み”としてください。

FAX 0748-55-1178（東近江市立蒲生病院リハビリテーション科 奥田 宛）

※飲酒の席ですので公共交通機関、送迎バスの利用をお願い致します。また会場の駐車スペースが限られており駐車できない場合があります。可能な限り送迎バスの利用をお願い致します。前日・当日キャンセルについてはキャンセル料を徴収させていただきますのでご注意ください。



滋賀県理学療法士会 ゴルフコンペのご案内

毎年、恒例の滋賀県理学療法士会ゴルフコンペを今年も企画しております。県士会会員であればゴルフがお好きな方はもちろん、これから始めてみようと思う方、女性の方など、腕前は問いませんので気軽に参加してください。日頃の息抜きや、情報交換の場になればと思っております。職場の同僚やご友人お誘い合わせの上、お申し込み下さい。多数の参加をお待ちしております。

日 時：平成23年8月7日 日曜日 (予定)

※8:00～9:00頃のスタートを予定しています。

場 所：滋賀県内のゴルフ場

申し込み：下記宛先までE-mailにて、氏名・所属・連絡先(E-mail)・平均スコア(組分けのため)を明記しお申し込みください。詳細は後日、E-mailにてご案内いたします。
E-mail: toyosato.rha@toyosato.or.jp

締め切り：平成23年7月2日(土)

問い合わせ先：(財)豊郷病院 リハビリテーション科 奥村 陽一まで
TEL: 0749-35-3001 (代表)

こんな本

読みました！



介護老人保健施設

リスタあすなろ

瀧本 真奈

高齢化が進むにつれ認知症を発症した方と接する機会が多くなってくると考えられます。

実際、私の担当させていただいている利用者様の中には認知症と診断された方が多くいらっしゃいます。重度な認知症のある方のリハビリを担当することになると聞くと、正直心のどこかで大変そうだと感じてしまいます。認知症の方は記憶力が低下しており、コミュニケーションが困難であったり、拒否があり訓練を行っていただけなかったりするからです。みなさんにもそんな経験はないでしょうか？

リハビリを行う際対象者の方の協力が得られないと、どれだけセラピストががんばって治療を行おうとできることは限られてしまいます。この本の中には認知症の中核症状、疾患別(アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症など)の症状、周辺症状についてとそれぞれに対する対処を精神化デイスサービスであった実際の事例と結びつけて説明されています。また認知症にかかった方の言葉、想いや不安、どういった対応をしてほしいのか、デイススタッフとともに認知症と向き合う姿がたくさん書かれています。

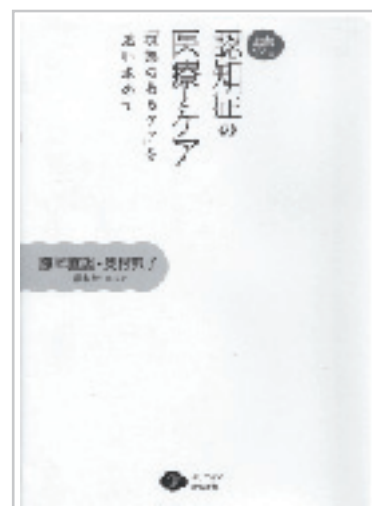
認知症の方と接するとき、自分の主観で対応していないだろうか？認知症の方の想いを知り、認知症との関わり方について考え直すよい機会になりました。

【題名】

続
認知症の医療とケア
「根拠のあるケア」を求めて

著者
藤本直規・奥村典子
藤本クリニック

出版社
クリエイツかわもと



Let's study.

6月分

1 年次 新人研修会

日 時：平成23年6月26日（日）

会 場：ピアザ淡海会議室 305会議室

申込み：下記アドレスまでE-mailにて、事前にお申込みください。件名には、必ず「1年次新人研修会・新人歓迎会申込み」と入れ、氏名・所属を明記して、新人研修会と新人歓迎会の出欠を一緒にお知らせください。

所属施設ごとの一括申し込みにご協力申し込みにご協力をお願いします。

申し込み期間は、平成23年6月17日（金）まで。

h-kawasaki@pt-si.aino.ac.jp

9：20～10：50

テーマ：協会組織と生涯学習システム

講 師：川崎浩子（滋賀医療技術専門学校）

新人教育プログラム該当単位：

1－1（平成20年度以降の入会者）

3－1（平成13年度～19年度の入会者）

13：30～15：00

テーマ：地域リハビリテーション

講 師：奥邨 純也（甲賀地域リハビリテーション広域支援センター）

新人教育プログラム該当単位：1－3

11：00～12：30

テーマ：職業倫理・管理運営

講 師：滋賀県理学療法士会 士会長 本白水 博

新人教育プログラム該当単位：1－2

15：10～16：40

テーマ：介護保険制度と通所リハビリ・訪問リハビリについて

講 師：深江 富美 岩倉 智子（介護保険部）

新人教育プログラム該当単位：1－4

滋賀県理学療法士会問い合わせ先一覧

■事務局 ptshiga@ares.eonet.ne.jp 担当：大津市民病院 槻本

■入会 異動 財務関係 メーリングリスト登録 公文書発送

hiraiwa@belle.shiga-med.ac.jp 担当：滋賀医大 平岩

届け出書類等郵送先

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部 平岩康之まで

TEL/FAX 077-548-2670

メーリングリスト登録ご希望の場合はメーリングリスト登録希望と表題に書いていただき、本文には、氏名、所属施設、会員番号（新入会の方は必要ありません）を記入して平岩までメールしてください
士会員メーリングリストアドレスshigapt-ml@freeml.com

■発送物関係 reha@otsu.jrc.or.jp 担当：大津赤十字病院 リハビリテーション科 奥田

折込発送物等あれば、毎月25日までにお申し出ください

■ホームページ原稿受付 shigapt-it@mopera.net 担当：公立甲賀病院 奥邨

■士会ニュース原稿受付 shigaptnews@infoseek.jp 担当：公立甲賀病院 龍本

■研修関係 ptshigakennsyuukai@yahoo.co.jp 担当：ヴォーリズ記念病院 清岡

■生涯学習関係 h-kawasaki@pt-si.aino.ac.jp 担当：滋賀医療技術専門学校 川崎

TEL 0749-46-2322

■厚生事業関係 ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp 担当：蒲生病院 奥田

事務局 だより

平成23年 6 月分

○会員数 586名 (平成23年 5 月 1 日現在)

○賛助会員 5 社

会員異動

異動種別	件数 (名)
------	--------

休 会	7
-----	---

県内異動	8
------	---

転 出	11
-----	----

転 入	7
-----	---

届出事項変更	3
--------	---

復 会	1
-----	---

尚、今回より氏名を公表することについては控えることになりました。

今年度、出産等で休会を予定されている方へ (お願い)

年度途中の休会はその年度の会費を納金する必要がありますので、今年度末まで延ばされることをお勧めします。今年度末の休会届締め切りは平成24年1月末とします。

尚、会員登録の誤りや不明な点がございましたらご遠慮なくお申し出ください。

入会、転入転出の届出先は昨年 8 月より滋賀医大に変更になっていますのでご注意ください。

会費納入のお願い

平成23年度の会費納付をお願いいたします。

会費納付先

滋賀銀行 瀬田駅前支店 普通 741056

シガケンリガクリョウハウシカイ

会 費

新卒 1 年目 19,000円

(入会金5,000円、協会費5,000円、士会費9,000円)

2年目以降 20,000円

(協会費11,000円含む)

新卒以外の入会者 25,000円

(2年目以降の会費+入会金5,000円)

会費の領収書が必要な方は会費納付後(会費未

納の方の分の依頼がよくありますので十分確認してください)、施設ごとにまとめて下記の事項をメールに記載してこちらに送ってください。

必要事項：領収書宛先、送付先、領収書の必要な方の氏名、施設名

協会費クレジットカードの切り替えについて

すでに会員様には協会より2月と4月に案内されていますが、Nicosカードから楽天カードへの切り替えをなるべく速やかに行っていただきますようお願い申し上げます。手続きは協会の会員専用サイト<http://www.japanpt.or.jp/gl/>より行ってください。詳しくは協会より送付された「協会会員証および指定カード変更のお願い」と「ニコスカード提携終了に伴う手続きのお願い」という文書をご覧ください。

この件に関するお問い合わせは日本理学療法士協会事務局 TEL 03-5414-7911までお願いします。

異動届、入会届送付先

〒520-2192

大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部

平岩康之 宛

問い合わせ hiraiwa@belle.shiga-med.ac.jp

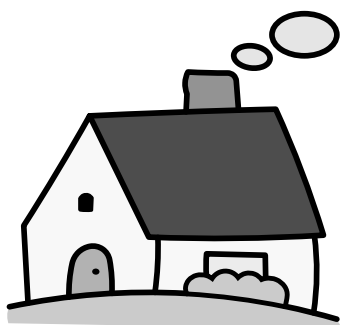


編集後記

東日本大地震が起こり、約3ヶ月を迎えます。

まだまだ、大変な状況が続いています。関西圏からも支援を行ったり、様々な協会の運動を行ったり、全国の人たちが何かできる事を探しているように感じます。

皆さんも、新年度を迎え忙しい日々を送っていると思いますが、頑張ってください。



広報部メールアドレス

shigaptnews@infoseek.jp

SHIGA SCHOOL
of Medical Technology

滋賀医療技術専門学校

～新しいリハビリテーション医学を学ぼう～

最速・最短・最小学費で国家資格を取得！

- ①理学療法学科・作業療法学科ともに最短資格取得の3年制！
- ②学費は3年間でわずか300万円！
- ③関連校である藍野大学への編入制度を計画中！

〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967番地

学校法人 藍野学院

滋賀医療技術専門学校

TEL : 0749 (46) 2311

FAX : 0749 (46) 2313

E-mail : shiga@ainoac.jp

http://www.aino.ac.jp